

## 安芸高田市地域おこし協力隊活動支援業務 仕様書

### 1.業務名

2026 年度地域おこし協力隊活動支援業務（以下「本業務」という。）

### 2.業務目的

本業務は、地域おこし協力隊員の活動に係る地域課題の解決及び地域の活性化等のサポートを行うことにより、隊員の活動成果の向上や隊員の定住・定着を図り、地域の持続的な発展に寄与することを目的とする。

### 3.履行期間

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

### 4.業務概要

#### （1）隊員の活動支援

##### ①研修会支援

- ・支援者は、隊員に対し、活動や起業・就労等に求められる知識・スキルの習得に必要な助言や研修等を実施する。
- ・総務省や広島県等が実施する隊員向け研修会等への積極的な参加を促す。

##### ②隊員のサポート体制の構築

- ・支援者は、地域関係者との連携体制を基礎に、協力隊卒業生（OB・OG）に加え、広島県地域おこし協力隊ネットワーク、総務省の協力隊アドバイザー等の外部団体等を活用した支援ネットワークを構築・運用する。
- ・連絡会議の支援  
支援者は、市が月 1 回開催する連絡会議に出席し、進行や助言を行う。
- ・日々の活動への助言等  
支援者は、隊員からの日々の個別相談に対し、隊員の状況を加味した上で助言を行う。

##### ③市民向けの報告会の開催支援

支援者は、市民へ地域おこし協力隊についての理解促進と接点創出のため、報告会を年 1 回企画・提案し、実施する。

##### ④支援状況の報告

支援者は、毎月、前の月に実施した隊員へのサポート内容を記載した報告書を市へ提出する。

##### ⑤新規隊員への着任までのフォローアップ

支援者は、新規隊員の採用決定後、着任までの期間、居住環境等についての相談にのり、住居の紹介や地域住民との繋がり作り、心配事についてのサポートを行う。また、着任後、スムーズに活動ができるよう、必要に応じて採用予定者の受入関係団体との調整を行う。

## 5.特記事項

- ・ 支援者は、本業務に十分な知識と経験を有する者を配置すること。
- ・ 支援者は、本業務の履行期間中、業務内容全般を常に把握している担当者を置き、業務の円滑な実施のために、定期的に市と連絡調整を行うこと。
- ・ 支援者は、委託業務を行うにあたって業務上知り得た個人情報やその他の秘密事項を他人に漏らし、または委託業務以外に使用してはならない。委託業務終了後も同様とする。
- ・ 本業務を適正かつ円滑に実施するため、支援者は市と常に連絡を取り、この仕様書に定めるもののほか、必要な事項が生じた場合は、その都度協議するものとする。
- ・ 支援者は、本業務を履行するうえで法令等を遵守すること。
- ・ 仕様書に定めのない事項は、安芸高田市との協議により定める。